

# 北海道の豊かで多様な河川を次世代に。

美しい山河を守る基本方針の改訂など  
河川工事においては「多自然川づくり」が  
基本となっております。  
環境調査を含め、本来の河川を保全・  
復元する計画のご提案をいたします。

平成23年度に起きた伊豆半島大水害では、河道閉塞に伴う  
土石流による被害の懸念や平成26年の広島での土砂災害な  
ど、土砂災害による被害が頻発しております。  
土砂災害から住民を守るために土砂災害の危険性を十分  
に伝える必要があります。危険度を評価する基礎調査は迅速に行  
う必要があります。  
当社では迅速に調査を行うために、各専門分野が連携して  
業務を遂行いたします。

小平薬川 河口より約10km上流平和頭首工より下流



石組低落差工(ポン沖内川)



カゴマット(オクハツ沢川)



石羽口工(小平薬川)



自然石護岸(ニチナイ川)

## 当社河川砂防部門の役割

- 河川計画  
環境や地元要望に配慮した川づくり計画  
河川・道路各種施設の冠水対策案の策定
- 構造物の計画  
樋門・樋管・排水工などの排水施設  
取水・サイホン・頭首工・落差工など構造物設計
- 砂防施設設計  
土砂流出防止施設の計画・設計
- 土砂災害  
土砂災害警戒区域指定等の基礎調査
- 長寿命化計画及び老朽化対策  
排水機場・水門等の長寿命化計画
- 災害復旧  
河川及び河川構造物の災害復旧計画

## こんなときは

- 冠水や越水対策は何をしたらいいの・・・
- 環境・景観に配慮するには・・・
- 土砂災害に対する基礎調査を行いたいのだか・・・
- 降雨・融雪等で河岸が崩壊してしまった・・・

## 河川砂防に関するお問い合わせは

技術部 河川・海洋港湾課 担当：下山裕也、菅原忠晴

☎ 011-222-2606(直通)



パブリックコンサルタント株式会社

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第2道通ビル  
TEL 代表 (011)222-3338 FAX(011)251-3176  
URL <https://www.public-con.co.jp/>

# 業務内容

<h2>河川計画</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高水流出解析</li> <li>・治水経済調査</li> <li>・河道計画</li> </ul>	<p>平成2年に「『多自然型川づくり』の推進について」の通達が出されていらい河川改修においては、河川が本来有している生物の良好な生息・生育環境に配慮し、あわせて美しい自然景観を保全あるいは創出する川づくりが進められてきました。</p> <p>当社は留萌管内を流下する2級河川小平薬川を始め、多自然を取り入れた河川改修の提案をしてまいりました。</p> <p>また、河川改修を計画するための流量計算を始め、河川事業に妥当性及び継続性の必要性を図る治水経済調査も継続的に受注しております。</p>	
<h2>河川構造物</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>・築堤,護岸</li> <li>・樋門,樋管</li> <li>・堰,落差工</li> </ul>	<p>平成25年8月に「河川事業設計要領」が改訂され、主要構造物では従来のレベル1地震動に加え、レベル2地震動の照査を行うこととなりました。</p> <p>当社では、各種構造物について、液状化の判定及び築堤解析(有限要素法を用いた自重変形解析法等)により、地震動で変形する築堤の応力を考慮した構造物の設計を行っております。</p> <p>また、許可工作物である取水堰・サイホン工なども実績が多くあります。</p>	
<h2>砂防施設</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予備設計</li> <li>・詳細設計</li> </ul>	<p>予備設計では流域全体を見通して河川の正常な機能を保全し、安全な環境の確保を図るよう①計画生産土砂量②計画流出土砂量③計画許容流砂量④計画超過土砂量等を算出し、これを砂防施設の配置ならびに山腹緑化を通じて減少させる施設配置計画を行います。</p> <p>また、詳細設計では、「防災機能の確保」「時間軸の考慮」「地域の個性尊重」に基づいて、施設の目的を具体化した形状として機能を尊重するとともに、周辺の地形や植生などに考慮した設計を行うことを心がけています。</p>	
<h2>基礎調査</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土石流</li> <li>・急溪斜地</li> </ul>	<p>土砂災害防止基本方針で都道府県が実施する基礎調査は、溪流や斜面及びその下流などの土砂災害により被害を受けるおそれのある区域の地形、地質、土地利用状況等について調査を行う。この調査は、今後5年間で完了を目標としています。</p> <p>当社は平成24年度から土砂災害防止区域基礎調査を実施しており、測量調査・地質・河川砂防の各専門家が連携を図りながら業務を行っています。</p>	

## 〈業務実績〉

河川計画 河川構造物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タルマップ川河川調査設計</li> <li>・牛朱別川改修工事 ペーパン川地区取水施設設計その1</li> <li>・下徳富築堤排水計画外検討業務</li> <li>・由仁川広域河川改修工事落差工設計</li> <li>・久著呂川 河川総合流域防災工事(自然再生)再評価資料作成委託</li> <li>・無加川広域河川改修工事(ペンケビバウシ川地区)(護岸工設計)その2</li> <li>・中央ウブシ川 河川計画調査(流域懇談会,整備計画作成)</li> <li>・中の川 総合流域防災工事護岸工設計委託</li> </ul>	平成30年度 平成30年度 令和 2年度 令和 2年度 令和 3年度 令和 3年度 令和 4年度 令和 4年度	留萌建設管理部 旭川建設管理部 札幌開発建設部 札幌建設管理部 釧路建設管理部 網走建設管理部 留萌建設管理部 留萌建設管理部
砂防 基礎調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網走建設部管理部管内 土砂災害防止区域基礎調査 その4</li> <li>・稚内建設管理部管内 土砂災害防止区域基礎調査その1</li> <li>・事業課管内土砂災害防止区域基礎調査(南平岸地区)外</li> <li>・オホーツク総合振興局管内 土砂災害防止区域基礎調査(訓子府地区)</li> <li>・渡島総合振興局管内土砂災害警戒区域現地標識配置検討・設計委託</li> </ul>	平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和 2年度	網走建設管理部 稚内建設管理部 網走建設管理部 網走建設管理部 函館建設管理部
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸切地川外水位計配置検討業務</li> <li>・広島築堤堤内排水資料作成</li> <li>・留萌建設管理部管内河川情報基盤整備工事 実施設計</li> <li>・境川排水機場長寿命化計画策定</li> </ul>	令和 2年度 令和 2年度 令和 3年度 令和 4年度	函館建設管理部 石狩川振興財団 留萌建設管理部 札幌建設管理部